

木更津工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	美術	
科目基礎情報							
科目番号	0005		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 1		
開設学科	電子制御工学科		対象学年		1		
開設期	前期		週時間数		2		
教科書/教材	高校美術 1（日本文教出版）						
担当教員	坂田 洋満						
到達目標							
（1）課題に強い興味・関心を持ち、創意工夫し計画的に製作に取り組める。 （2）独創的で豊かな発想をし、それを表現する方法を理解し、効果的に表現できる。 （3）作者の心情や表現の工夫を感じ取るとともに、お互いの作品を鑑賞し、いろいろな見方や感じ方を広げることができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		実技作品を仕上げて期限内に提出		実技作品を学期内に提出		実技作品の未提出	
評価項目2		作品の内容に独創的な創意工夫がある		作品の内容に創意工夫をしようとしている		作品の内容に創意工夫があまり見られない	
評価項目3		作品鑑賞に積極的に取り組み自分の意見を述べるができる		作品鑑賞にまじめに取り組む		作品鑑賞の態度に前向きさがない	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		美術作品の制作および鑑賞を通し、美術へ関心を持ち、自身の表現を創意工夫し探究する力を身につける。創作活動と鑑賞を通して芸術に対する感受性を育む。					
授業の進め方・方法		制作および鑑賞にあたって、関心や意欲を引き出す教材として、教科書や参考作品を活用する。またそれらから画材や道具の基本的な使い方や応用の仕方を学ぶ。					
注意点		作品づくりのプロセスをよく理解し、教科書・参考作品をヒントにし、自己の表現に活かす心構えを持つこと。真摯な態度で授業に取り組むこと。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	ガイダンス		美術学習の意義について理解する		
		2週	グラデーション制作		白黒の色の幅を追求する		
		3週	写生-石膏像		グラデーション制作の基礎を用いて立体及び空間を表現する		
		4週	写生-人物画（1）		自画像を描く。似せることに拘らず自分なりの表現をする。鉛筆の色の幅を使い、表現する。		
		5週	写生-人物画（2）		自画像を描く。似せることに拘らず自分なりの表現をする。鉛筆の色の幅を使い、表現する。		
		6週	写生-人物画（3）		人物像を描く。似せることに拘らず自分なりの表現をする。鉛筆の色の幅を使い、表現する。		
		7週	写生-人物画（4）		人物像を描く。似せることに拘らず自分なりの表現をする。鉛筆の色の幅を使い、表現する。		
		8週	デザイン-色面構成（1）		下絵を作成する。抽象的な物やイメージによる構成を通して創造性を養う。限られた色による調和の取れた色面構成。		
	4thQ	9週	デザイン-色面構成（2）		下絵を作成する。抽象的な物やイメージによる構成を通して創造性を養う。限られた色による調和の取れた色面構成。		
		10週	デザイン-色面構成（3）		下絵を作成する。抽象的な物やイメージによる構成を通して創造性を養う。限られた色による調和の取れた色面構成。		
		11週	デザイン-色面構成（4）		下絵を作成する。抽象的な物やイメージによる構成を通して創造性を養う。限られた色による調和の取れた色面構成。		
		12週	写生-風景画（1）		身近な風景に美を見いだす。		
		13週	写生-風景画（2）		身近な風景に美を見いだす。		
		14週	版画制作		凹版画づくりのプロセスを理解し、その特徴を十分に活かす。		
		15週	講評会		相互の作品について理解を深める。		
		16週					
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	60	140	0	200
基礎的能力	0	0	0	30	70	0	100
専門的能力	0	0	0	30	70	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0